

5. こどもの環境を整えてあげましょう！

温度、湿度について

- ・室内温度は夏は19～24℃ 冬は18～22℃が目安です。
(夏、冷房を使用する場合は外気温との差を5℃以内に調節しましょう。)
- ・室内湿度は50～60%が目安です。
- ・床面の温度は2～3℃低い場合もあるので注意しましょう。

温度計、湿度計をお部屋に準備して、こまめにチェック、調整しましょう。

湿度 50%程で
インフルエンザウィルスの感染
力が急激に低下するそうです。



夏は適度に汗をかくこと
冬は寒さを感じることで
体が強くなるよ！

～ここも大切～

エアコン、加湿器の利用・・・適正な温度湿度を保つために電化製品を上手に使うと良いですね。しかし、加湿器は細菌が繁殖しやすく感染源となりやすいので、毎日水槽を洗浄して新しい水に変えましょう。

また、エアコン等のフィルターの掃除も定期的に行うのを忘れないようにしましょう。

～換気について～

1. 冷暖房などを使用していても、定期的には換気を行いましょう。

○コンクリート	1時間に1回程度
○木造	2時間に1回程度

暖めすぎ、冷やしすぎ
も防いでくれるよ！
温度が快適でも空気が
汚れているよ。

2. 風の強い日や眠っている間は、風によって体の熱が奪われやすいので、扇風機やクーラーの使用に注意しましょう。(直接風が当たらないようにしましょう。)

～お掃除について～

お子様やご家族が体調が悪いときなどは、家庭内で感染がひろがったりするのを防ぐためにもしっかりした汚物の扱い方や掃除方法を知っておかれると良いでしょう。

家庭でもマスクの着用や、近くですごさないようにしたり、換気も大切なね

6. 日常の清潔と清掃

保育園では、多くの子ども達が一緒に生活をします。感染症の広がりを防ぎ、安全で快適な保育環境を保つため、保育園では日ごろから以下のような衛生管理を行っています。ご家庭でも参考にしてください。

① 床、廊下など

尿や便、吐物やおやつ・給食の食べこぼしなどで保育室の床はとても汚れやすい場所です。長時間汚れを放置しておくと、細菌が増殖したり、感染源となる病原体が広がる恐れがありますので、すばやく処理することが必要です。

○おやつ・給食の食べこぼし：ほうきで集め素早くゴミ箱へ。水分は拭きましょう。

○尿：雑巾でよくふき取ります。

○便・吐物：ペーパーなどで汚物が広がらないように覆い、汚物は袋などに入れて捨てます。汚物を取り除いた後、消毒液につけた雑巾で拭き上げます。

床はアルコールの噴霧ではムラができ十分消毒できません。拭き上げ掃除をしましょう。

② 手洗い場

クレンザーなどで洗い、拭き上げます。水道蛇口に細菌・ウィルスが付着し感染を広げることもあるので蛇口も忘れずに洗いましょう。

水たまりのないように水分はこまめに拭きとっておくといいですね。

③ トイレ・沐浴場

トイレ掃除用の道具は保育室とは別のものを使用します。(ブラシ、ほうき、雑巾など) 便器用ブラシとトイレ用の洗剤で磨き、雑巾は便器、便座用、床用など分けたほうが良いでしょう。

トイレのドアノブ、水洗トイレの水を流すレバー、手すりや壁など子供が手で触れる場所も消毒薬を利用し拭き上げましょう。



④ タオル

タオルを介して人から人への感染を避けるため、基本的に手拭きや沐浴タオルなどの共有はやめましょう。食事・おやつなど飲食前の手洗いはペーパータオルを使用することが望ましく、個々人が持参しているタオルも定期的に交換、保管方法についても注意しましょう。

・湿気を含んだタオルは細菌繁殖のもととなりますので注意してください！

⑤ 歯ブラシ

保育園で管理する場合は、熱湯消毒や紫外線消毒などをして清潔に保管することが大切です。

⑥ おもちゃ

洗えるものは定期的に洗い、洗えないものは拭き上げ、乾燥させたり、日光による紫外線消毒などを行います。乳幼児のおもちゃは、口に入れることも多いので使用前と後を別々に保管するなどの工夫も必要です。口に入れた玩具はその都度洗って乾燥させましょう！

乳児クラスは週1回、
幼児クラスは3か月に1回は
おもちゃの洗浄をするように
しましょう。

※曜日を決めて確実に洗浄できるといいですね。

